

歯科開業医の談話室

- 01 上顎無歯顎印象採得
- 02 下顎無歯顎印象採得
- 03 日本人用無歯顎既製トレー
- 04 総義歯の難症例
- 05 クラスプと間接維持装置の配置
- 06 直接維持装置の設計
- 07 間接維持装置の設計
- 08 鉤歯の歯冠形態改造
- 09 大連結子の設計
- 10 根尖まで根管充填する方法
- 11 感染根管のプレパレーション
- 12 歯内療法用器具の操作方法
- 13 歯内療法器具の根管内破折防止
- 14 下顎孔伝達麻酔方法
- 15 歯科医師のための患者情報書類の書き方
- 16 半調節性咬合器の模型マウント方法
- 17 咬合理論
- 18 顎関節症

19 咬合病

20 変形性顎関節症

- 21 外側翼突筋の障害
- 22 円板後部組織の障害
- 23 中心位
- 24 中心位の採得方法
- 25 不正咬合
- 26 咬合分析
- 27 咬合調整
- 28 咬合調整のための診察・診断
- 29 咬合調整の方法
- 30 咬合調整の症例
- 31 咬合平面
- 32 咬合高径の理論
- 33 スマイルデザイン
- 34 アンテリアガイダンス
- 35 ロングセントリック
- 36 ブラキシズム
- 37 顎関節の雑音
- 38 オクルーザルスプリント
- 39 理想咬合



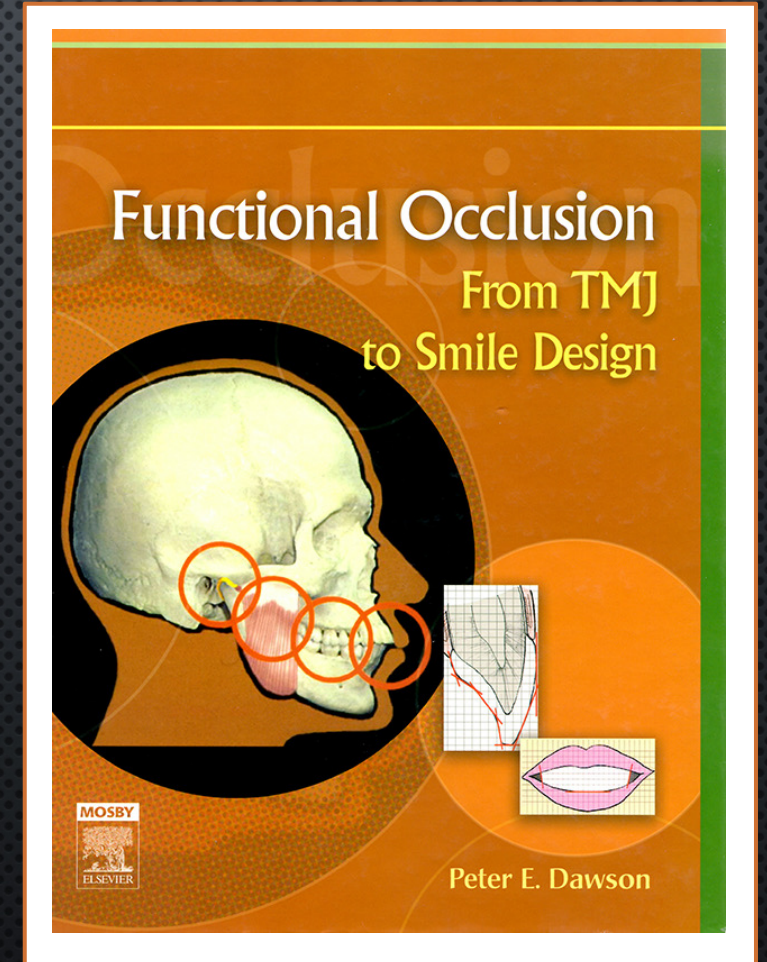
この談話室の記事に関係する著書を紹介します。
いずれもシエン社およびアマゾンにて購入できます。



変形性顎関節症

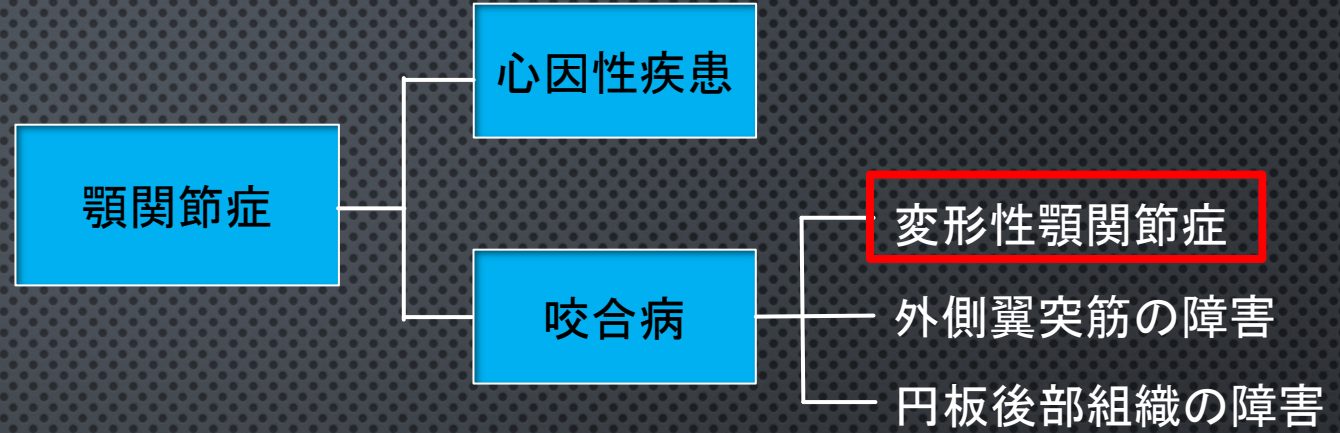
もくじ

1. 変形性顎関節症とは
2. 定義
3. 原因
4. 病態と臨床症状
5. 診察
6. 検査所見と診断・鑑別診断
7. 治療の基本方針
8. 変形性顎関節症に対する関節内薬液注入
9. 関節円板の穿孔
10. 高齢者の変形性顎関節症



【歯科開業医の談話室 20】

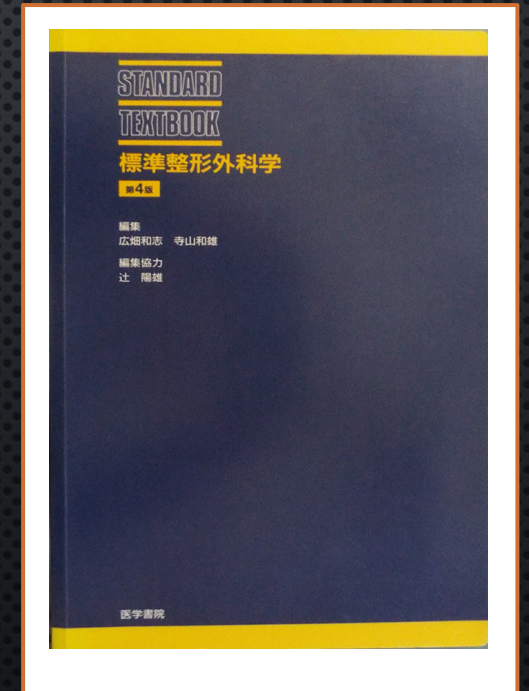
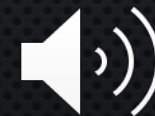
変形性顎関節症



1. 変形性顎関節症とは

変形性顎関節症は、上のチャート図が示すように、咬合病に含まれる病気の一つです。

変形性顎関節症は、整形外科領域の変形性関節症と整合し、正式な病名として認められております。日本の歯科領域において「変形性顎関節症」を解説した文献は見当たらないため、変形性顎関節症を理解するためには、右下に示す整形外科の専門書にて変形性関節症を理解する必要があります。

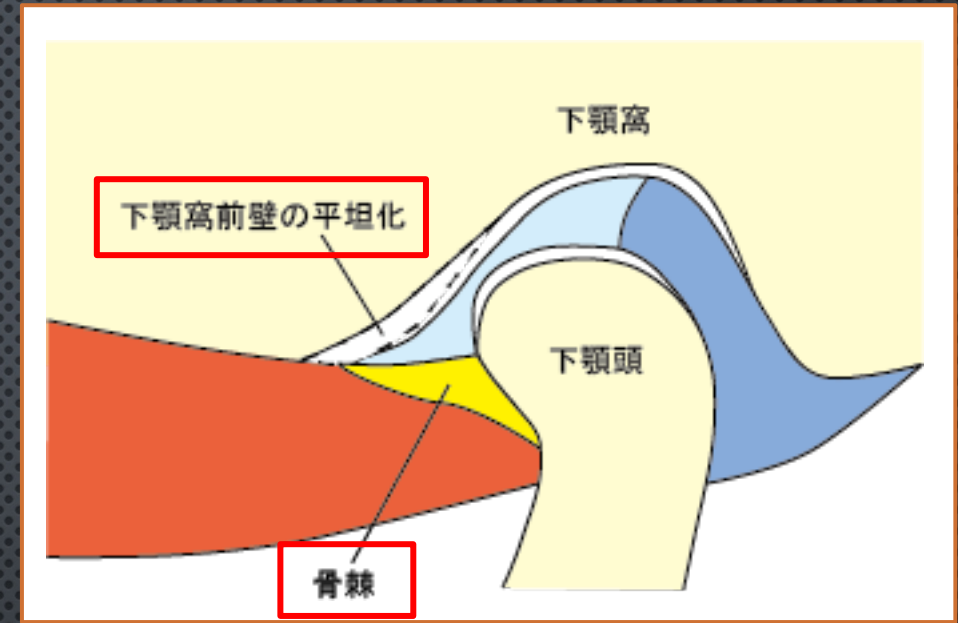


変形性顎関節症

2. 定義

医学辞典あるいは整形外科の専門書によりますと、変形性関節症は、関節に生じた退行性変性で、関節の軟骨あるいは骨の変性萎縮です。すなわち、変形性関節症は、関節に加わるいろいろな負荷により、関節全体に退行性変化と増殖性変化を起こし、種々の症状を惹起するようになった状態です。

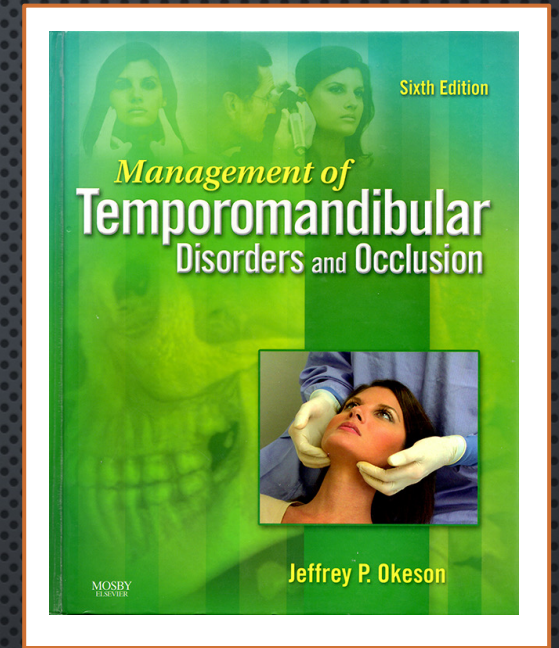
変形性顎関節症は、変形性関節症と整合することから、右上のイラストが示すように、顎関節を構成する骨や円板がすり減り、下顎窩前壁の平坦化あるいは靭帯が骨化して棘状になった状態です。



【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

3. 原因



OkesonのTMD and Occlusionによりますと、変形性顎関節症の原因は、大きく分けて二つあります。

一つ目は、不正咬合により、顎関節の一部に長期間にわたる慢性的刺激を受け、顎関節構成体の一部が変性・変形した状態になることです。高齢者に発症することが多いです。

二つ目は、外傷により顎関節構成体が損傷を受け、その後長期間にわたって放置され、不完全治癒の結果生じる場合です。若年者に発症することが多く、過去に顎の外傷を受けた既往歴の存在が特徴です。

【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

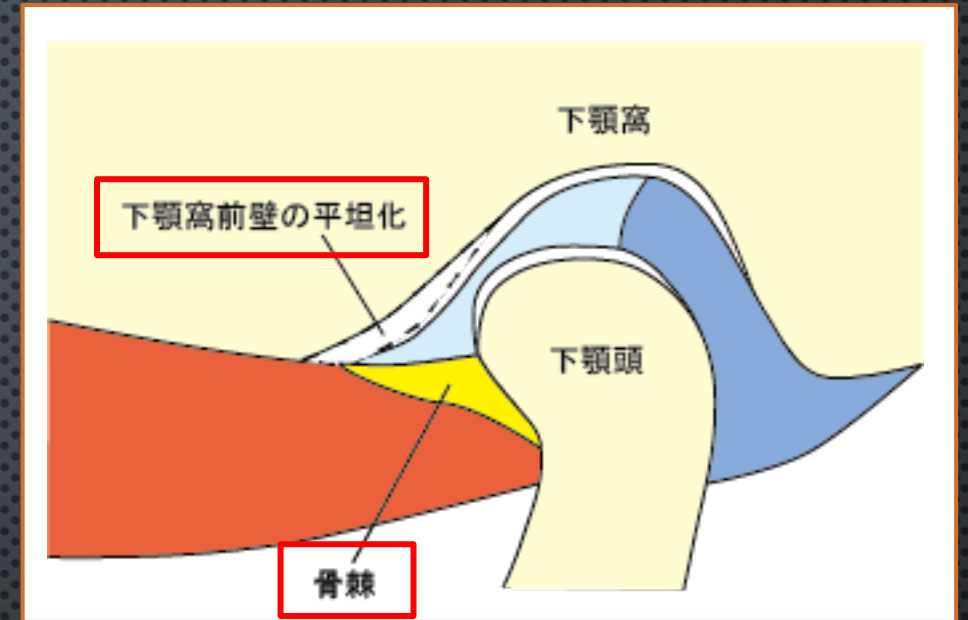
4. 病態と臨床症状

「病態」

顎関節全体に退行性変化と増殖性変化を起こし、種々の症状を惹起するようになった状態です。

「臨床症状」

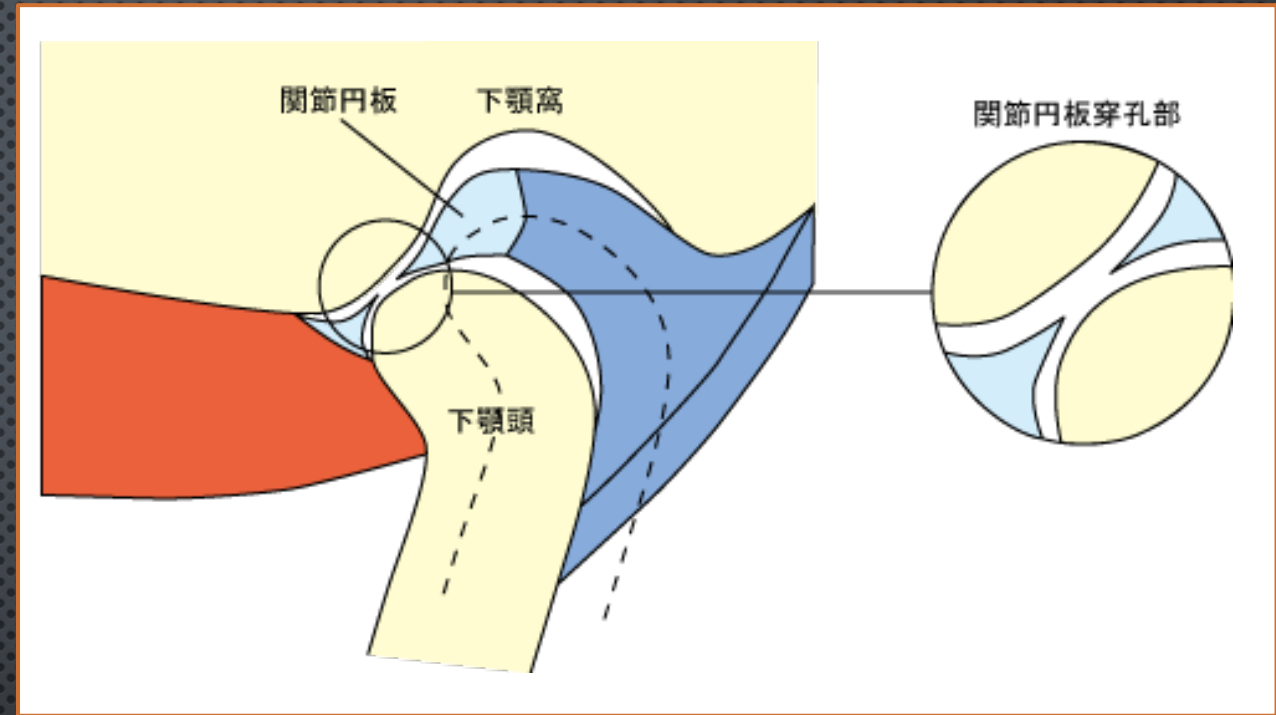
症状は、疼痛や運動制限が階段状に増悪してくるのが特徴です。下顎を動かすことにより、クレピタス音が聞こえてくることもあります。



【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

5. 診察



中心位の誘導と荷重負荷試験を行います。これらの診察において、異常所見が認められないのが特徴です。一方、大きく開口させたとき、顎関節部に限局した強い疼痛が生じることがあります。その疼痛は、最大開口位において下顎頭が前方に滑走し、右上のイラストが示す関節円板の穿孔部において、下顎頭と下顎窩が直接接触するために生じると考えられます。



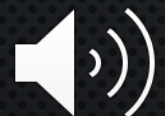
【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

6. 検査所見と診断・鑑別診断

「診断・鑑別診断」

診断は、レントゲン写真により、関節結節の平坦化や骨の反応性増殖による骨棘、あるいは、本来柔らかい組織に骨化した像が認められることにより確定します。外側翼突筋の障害と、円板後部組織の障害とを鑑別する必要があります。



【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

7. 治療の基本方針



変形性顎関節症の治療は、不正咬合を解消する原因療法を行います。しかし、一度変形した顎関節構成体は、もとどおりに回復することは困難です。したがって、重症化した場合、対症療法が中心となります。

一方、咬合高径の低い義歯を装着している患者に対して、適切な咬合高径の義歯を装着することにより、症状が改善することがあります。その原因は、義歯に適切な咬合高径を付与することにより、下顎頭が安定し、下顎頭と下顎窩の骨対骨の接触する機会が少なくなるためと考えられます。

【歯科開業医の談話室 20】

変形性顎関節症

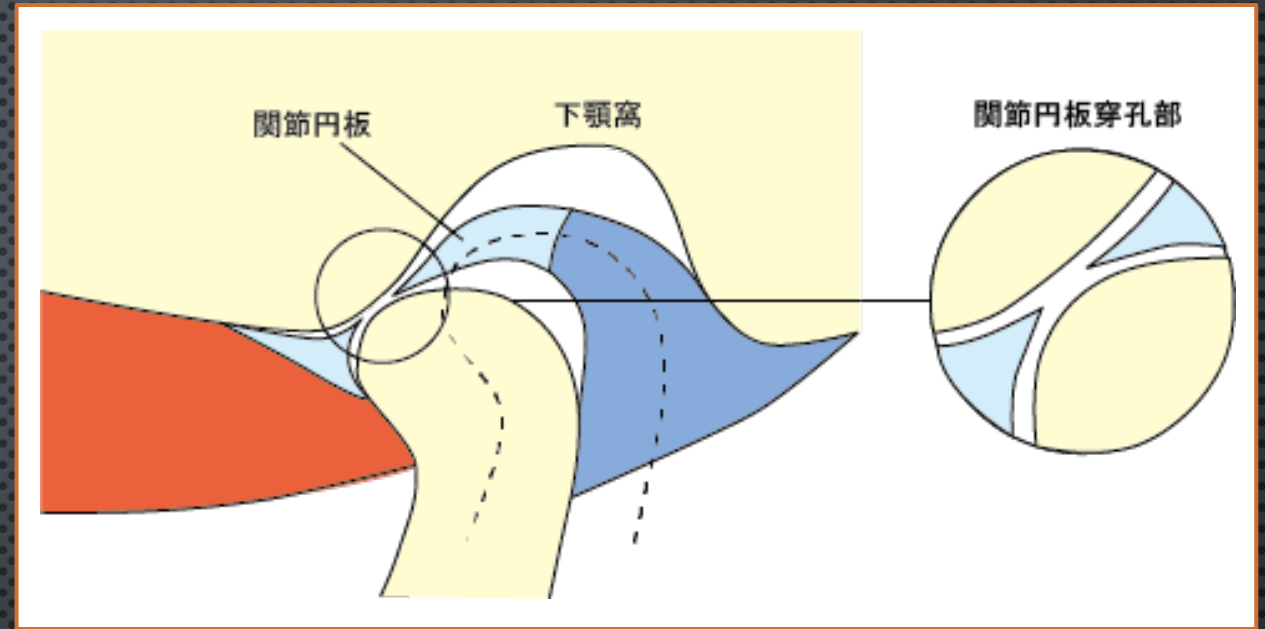
8. 変形性顎関節症に対する 関節内薬液注入

症状改善方法として、ステロイドホルモンの顎関節内注入療法があります。この療法は、一時的症状改善に著効を奏する反面、関節内変形を増悪させ、ときには細菌感染をもたらすなど弊害も大きいので、乱用は慎まなければなりません。



変形性顎関節症

9. 関節円板の穿孔

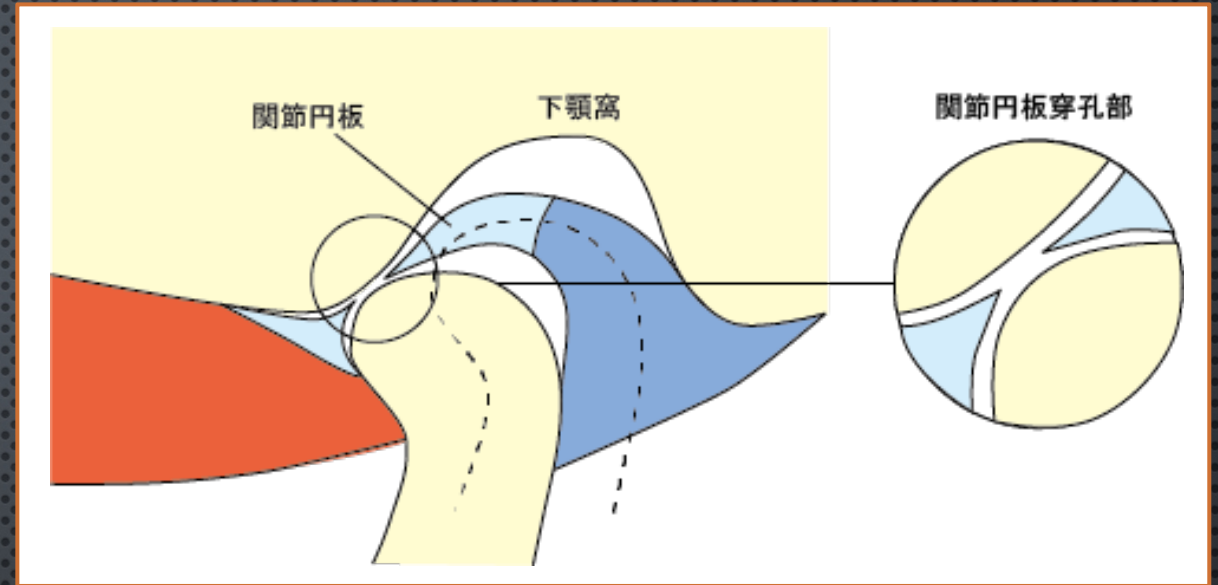


右上のイラストが示すように、変形性顎関節症が進行して、関節円板に穿孔が生じることがあります。大学歯学部で口腔解剖実習におけるご遺体の顎関節部観察にて、相当の頻度でこの穿孔を見かけることができます。その状態は、関節円板の中央狭窄部前方部が1～2mm円形に穿孔しております。穿孔状態は、円板穿孔部辺縁がナイフエッジの状態を呈し、下顎頭の前方移動繰り返しにより、関節円板が摩耗・穿孔に至ったことがうかがわれます。円板穿孔が確認されたご遺体は、ほとんどが無歯顎者で、しかも顎堤吸収が著しい状態です。この穿孔状態は、変形性顎関節症の状態に酷似していることから、生前は何らかの顎関節部の症状を示していたことが疑われます。



変形性顎関節症

10. 高齢者の 変形性顎関節症



一方、変形性顎関節症により、強い症状を示す高齢者の患者さんはさほど多くはみられません。しかし、症状が軽微なため見逃されている可能性があります。また、変形性顎関節症の症状は、階段状に増悪することから、自発痛等の重篤な症状は、穿孔の初期段階ではなく、穿孔部が相当拡大し、骨膜が摩滅し、骨対骨の接触が成立する晩期に生じる可能性があります。

歯科医師は、相当数の変形性顎関節症患者を見逃し、それらの患者さんを放置している可能性があります。今後、変形性顎関節症の診断と治療方法が進歩し、より適切な歯科医師の対応が期待されます。



【歯科開業医の談話室 20】



変形性顎関節症

参考文献

- 1)保母須弥也:咬合学事典、書林、東京、1979.
- 2)Peter E. Dawson : Functional Occlusion From TMJ to Smile Design, MOSBY, St. Louis, 2007.
- 3)外川正:入門顎関節症治療のための咬合分析と診断, 金原出版, 東京, 2009.
- 4)外川正, 武田泰典, 加藤貞文, 阿部 隆, 千葉健一, 水間謙三, 岡田 弘:いわゆる「顎関節症」から分離して扱うべき疾患—とくに隣接医科との整合性を考慮して—, 日本歯科評論, 624:171~180, 1994.
- 5)Niles F. Guichet : Occlusion, Anaheim, Calif. , 1977.
- 6)最新医学大辞典, 医歯薬出版, 東京, 1987.
- 7)福井次矢:内科診断学第2版、医学書院、東京、2008.
- 8)Okeson JP : Long-term treatment of disk-interference disorders of the TMJ with anterior repositioning occlusal splints. J Prosthet Dent 1988 ; 60 : 611-616.
- 9)Dawson PE : Bad advice from flawed research. AGD Impact April : 30-31, 1995.

今回のテーマを気に入っていただければ👍をクリックしてください。
質問あるいは疑問がある方は、下の公開コメント欄にお書き下さい。
よろしければチャンネル登録をお願いいたします。

次回の項目は、歯科開業医の談話室21番目「外側翼突筋の障害」です。

その他の著書

